

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

令和6年4月18日 NO.70

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

### 令和6年度 当初予算

### 農業集落排水事業が公会計に

### 農業集落排水特別会計の廃止

#### 令和6年度当初予算、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は159億674万円

前年度対比74.05万円の減額予算(▲0.5%)となっています。内訳は表のとおりです。

**一般会計**は116億4500万円、前年度比3億7500万円減(▲3.1%)となっています。

**自主財源**は35億5852万円、収入総額の30.6%で前年度より1.5%増となりました。

町税や国県支出金は減少していますが基金からの繰入金額が増加したことが要因です。

**依存財源** 地方交付税という国から頂くお金は、50億円(総額の42.9%)

で昨年実績を踏まえ特例交付金など2868万円増を見込んでいます。また、コロナ関連費の減

や災害復旧完了などで国・県支出金もかなり減額となりました。**借入予定額**も10億6590万円と3億9130万円の減額(▲26.9%)し、**依存財源**は80億8648万円(▲5.0%)となりました。

本年度の**借金の返済額**(公債費)は、災害普及事業債や過疎債の償還で1382万円減の12億7090万円となっています。

**令和6年度当初の基金**は、令和4年度末の町民一人あたりの借金残高は147万円となります。人口減が残高の多い原因と思われます。

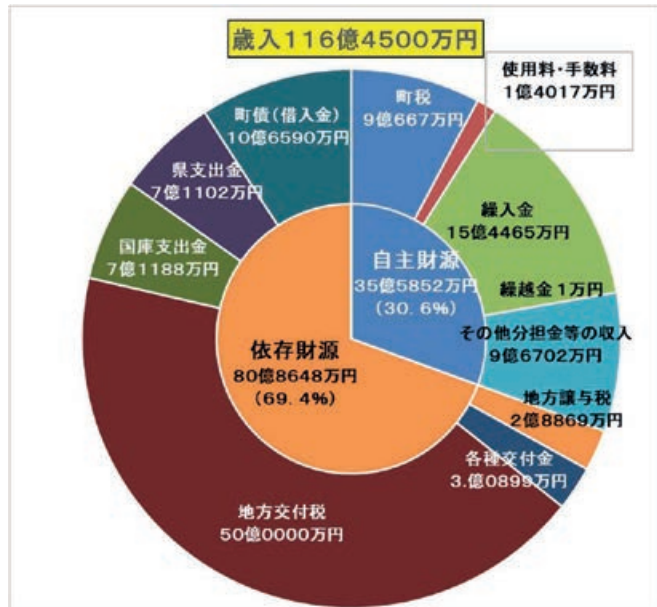
(**積立金**)総残高は102億10305万円、前年度より約11億円減を予定しています。

また、令和6年度末の**地方債(借金)残高の総額は138億9800万円**となり前年度より1億5千万円程度の減となる予定です。

なお、令和4年度末の町民一人あたりの借金残高は147万円となります。人口減が残高の多い原因と思われます。

単位: 万円(四捨五入)

会計名	R5年度	R6年度	前年度比較	
	当初予算額	当初予算額	増減額	
一般会計	120億2000	116億4500	▲3億7500	
特別会計	国民健康保険	9億3850	11億6800	2億2950
	後期高齢者医療	3億8790	4億0080	1,290
	介護保険	18億6790	18億2100	▲4690
	保険事業勘定	18億5100	18億0200	▲4900
	介護サービス事業勘定	1690	1900	210
	飲料水供設事業	4170	3380	▲790
	農業集落排水事業	2億1780		▲2億1780
	分収育林事業		10	10
	総合開発事業	1320		▲1320
	特別会計計	34億6700	34億2370	▲4330
病院事業会計	4億9379	5億3213	3億834	
内訳	資本的支出	3138	7125	3987
	収益的支出	4億6241	4億6088	▲153
集落排水事業会計		3億0591	3億0591	
内訳	資本的支出		1億0149	1億0149
	収益的支出		2億0442	2億0442
合計	159億8079	159億0674	▲7405	



# 令和6年 なにかがどうなる

## 教育委員会教育長の任命同意

氏名 政宗賢治氏

住所 阿下1170番地

任期 令和6年4月1日

～令和9年3月31日

## 条例制定・改正の主なもの

- 介護保険・国民健康保険⇒保険料税額の見直し(若干の値上げ)
- 保育所・幼稚園/保育料・利用負担額⇒無料化
- 乳幼児・子供・ひとり親家庭の医療費⇒無料化
- 特定非営利活動法人(収益事業を行わない)⇒町民税の減免
- かがやきネット加入負担金⇒一部無料化
- 新工場の設置⇒投下資本が規定額以上の場合支援金の交付
- おいでんしゃあ油木百彩館廃止⇒「名称」神石高原町油木地域交流拠点施設
- 豊松学校給食調理場と三和給食共同調理場の統合⇒「名称」町学校給食センター
- 新こばたけ保育所において0歳児保育を実施⇒「託児所たんぽぽ」の廃止
- クリーンセンター神石=(「ごみ固形燃料化」)⇒「一般廃棄物の積み替え」

### 令和5年度3月(令和6年3月)一般会計補正予算

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	▲ 99	8092	職員人件費
総務費	▲ 1億1954	26億5679	生活交通確保268、かがやきネット320、庁舎管理▲240、定住促進▲502、企業誘致促進▲5091、源流の里▲440、総合開発特別会計操出▲804、知産地防推進▲3522
民生費	▲ 1億0879	27億6157	高齢者福祉管理(メルシさんわ)▲213、デジタル事業成果(食育アプリ)▲581、介護保険特別会計▲1124、後期高齢者特別会計▲3295、児童手当給付▲382、児童扶養手当給付▲317、こばたけ保育所施設整備▲4171
衛生費	▲ 4381	17億6788	医療従事者奨学金貸付▲240、予防接種▲1197、病院事業会計▲600、へき地診療所経費▲400、水道広域連合企業団納付経費▲1075
農林水産費	▲ 4523	9億9336	農業委員会▲464、農村地域総合推進▲350、有害鳥獣(報償費)250、園芸施設整備補助交付▲1380、多面的機能支払▲528、道の駅中斷広場▲1663、農業振興(新規就農)▲1200、ひろしま農業創生▲250、農地利用促進化(トマト)▲1000、畜産振興施設整備▲488、ため池整備220、農山地域整備▲315、地籍調査3632、単独県費林道整備▲270
商工費	53	2億4210	
土木費	▲ 963	8億0736	住宅・建築物安全ストック形成▲756、長寿命化▲505、社会資本総合整備▲2594、単独町費町道整備(上組城江線)2310、公営住宅管理700
消防費	▲ 534	4億3650	非常備消防▲150、消防設備整備▲355
教育費	▲ 2280	10億3533	児童生徒送迎対策▲232、小学校体育館▲448、共同調理場▲1219
災害復旧費	▲ 1億7239	1億5312	現年農地施設復旧▲2710、現年発生道路橋梁▲1億4529
公債費	▲ 652	12億7820	長期債元金償還▲237、同利子償還415
諸支出金	1億0632	4億9461	減債基金積立2606、かがやきネット管理基金積立5005、企業立地基金積立3090
予備費		4000	
合計	▲ 4億2819	127億4774	(主な歳入)町税▲8045、普通交付税6574、国庫支出金▲1億8018、県支出金▲3465、寄付金(ふるさと納税など)403、基金繰り入れ3257、繰越金1356諸収入(チャレンジ基金貸付元利収入)3000、町債(過疎債、辺地債、合併特例債、災害復旧債、臨時対策債)▲2億70

### 令和6年度主な新規・拡充事業

○地域畜産クラスター	1482万円
○ティファガルデン遊具設置	6234万円
○有害鳥獣	6309万円
○油木拠点施設整備	7044万円
○油木・三和小修設計	2256万円
○保育所(本物体験)	1800万円

### 主な繰り越し事業 (単位万円)

◇電気ガス食料品高騰支援	1億3582
◇次期(こみ)処理対策	2145
◇地籍調査	3632
◇小規模崩壊地復旧	2861
◇町道上組城江線改修	2627
◇消防自動車(三和)	2726
◇共同調理場配送車	2272

### 令和5年度予算会計別総括表

会計名	R5年度		
	当初予算額	R5年度3月補正	R5年3月補正後予算
一般会計	120億2000	▲4億2820	127億4775
国民健康保険	9億3850	6619	10億6829
後期高齢者医療	3億8790	▲4157	3億4950
介護保険	18億6790	▲5771	18億6381
内訳			
保険事業勘定	18億5100	▲5821	18億4,715
介護サービス事業勘定	1690	50	1,666
飲料水施設事業	4170		4858
農業集落排水事業	2億1780	68	2億3427
分収育林事業			
総合開発事	1320	▲804	516
特別会計計	34億6700	▲4045	35億5766
病院事業会計	4億9379	▲750	5億0373
内訳			
資本的支出	3138		固定資産購入▲300
収益的支出	4億6241		修繕費▲300、負担金▲150
合計	159億8079	▲4億7615	168億0914
特別会計+病院事業会計	39億6079	▲4795	40億5589

### 《主な増額補正》

- 生活公共交通確保 268万円
- 町道上組城江線整備 2810万円
- かがやきネット管理基金 5005万円
- 企業立地基金積立 3090万円

令和5年度補正予算(R6年3月)は、表のとおりで、事業費の確定、精算見込による減額補正が主なものです。

## 産業振興基金積立など追加補正

## 令和5年度3月補正



# 当初予算質問

## 奨学金の返還

**木野山** 定住が条件となっているのか。

## 後藤政策企画課長

制度の対象者は町内出身者のUターンだけではなく、町内出身者でなくてもUターンUターンで本町に定住するものも含む。

**木野山** 町外の方も定住されたい。了解です。年齢制限は有るのか。何年かたって帰る場合は、その他条件を。

## 後藤政策企画課長

年齢制限はありません。前年度に償還した証明を添付し返済を確認したうえで返済額の2/3、上限15万円で補助金を支払う。家業を継ぐためのUターンは対象となる。たまたま今無職だが就労意欲のある方も対象となる。働く意欲があるか意思確認の上対象としている。

## 大阪万博への参加

**木野山** 広島県では本町と安芸高田市、全国では52市町しか参加が無い。

世界からの参加も少なく、建設も遅れている、能登半島の災害復旧が先との意見もあり、開催も危ぶまれている。

負担金は100万円ほどだと言われるが町予算では僅かだが普通は大きな金額だ。そういった中で参加するのはどうか。参加のメリットは。

## 後藤政策企画課長

マスコミなどでは万博工事の遅れなど指摘されている。一方ではコロナが明け海外からの渡航者が日々伸びてきている。その中で、各自自治体工夫を凝らしてインバウンド、訪日客の獲得を目指して、観光地、外国人にとっては特別の場所だというような掘り起こしに頑張っている処です。観光協会との協議の中で、本町では、森林セラピーやレジャー様々な農作物などの収穫体験や本町の健康長寿以外の持ち味としてのツアアの醸成が出来るのではないかと、最終的に本町の

観光人口の増加をどのように実現して行くかです。

**木野山** 観光人口の増加目的ならば、別に健康ゾーンでなくてもよい。他にも本町の全国に特色はいっぱいある。

検討されたい。100万円出すのだったら出展ゾーンも考えて戴きたい。

## 本物体験事業

**木野山** 各保育所、どんぐり幼稚園に30万円の予算がついている。

何をされるのか。今の構想を伺う。それ以外に拡げる方策はないか。

## 豊田子育て応援課長

通常保育ではなかなかできない楽しい体験を特別な体験をさせるために新規事業として実施計画しました。内容はそれぞれの保育所、認定こども園にて練って頂き具体的な内容を考えて頂く。担当課としては本物体験とは、五感を使った、見て聞いて触って嗅いで味わうような体験、また子供たちが関心を示しわくわ

くする様な体験となればと考えている。

子供たちに対するネイイ、何を期待するのか。実施効果も考えたい。一年間の結果で事業内容を次年度どうするか考える。

**木野山** この発想は良い事だと評価する。全国的にこのよう

な取り組みをしている処は少ないと思う。それぞれの保育所、幼稚園ともに自由に企画取り組める。単なる体験というものでなく保育所の所長さん保護者の方みんな一緒に子供たちが楽しい環境づくりをすることが面白い。

こういった事を通じて、子育てが楽しい、もう一人子供を産んでみたいと保護者の方が思われるような雰囲気作りが各保育所、幼稚園の工夫挑戦によってできるのではないかと期待します。

## 黒い雨のPR予算

**木野山** どういった形で発信されるのか。それを今後どのように活用されるのか。

## 高橋産業課長

志麻利の館長さんに黒い雨について語って頂いている。

語りをしっかりと映像で残すための基礎となる映像を撮っていく。

**木野山** これこそ本町の特色

ある、本町にしかない部分だ。これを全国的に発信することは素晴らしい事だ。資料として残すだけでは意味がない。他の事業とコラボしながら、何処かに発表する場を考えてはどうか。

インバウンドではないが、本町へ人を呼び込む、全国には関心のある方が多い。やりがいのある事業だ。今の施設は民家でせっかくの黒い雨の資料も陳列する場所も限られている。ましてや映像を映すなど出来ません。今の場所は町有地でしっかりと土地もあるのと考えて頂きもう一つ前に進めば良いと思います。が如何か。

## 入江町長

この志麻利は黒い雨の舞台となっており、特徴ある資源でありしっかりと活用していきたい。

# 一般質問

## 町民の安心と安全

Q 町民の安心と安全をいかに担保するか。  
有効な最善策を伺う。

A 町長 計画期間が本年度で満了する国土強靱化地域計画を実行性のあるものにする。行政、地域、自主防災組織、NPQ、民間企業の連携を図り防災力を強化する。

Q 自然災害以外において環境面と個人情報保護は。また地域連携の形は。

A 町長 環境面では住民との情報共有を基にしっかりと取り組む。個人情報面ではDXを含め莫大なデータは法律上守られているのでそれに沿って進めたい。

A 総務課長 本年度は町もしっかりと関与し防災に努めたい。

## 本町ならではの教育

Q 人口減少対策は待ったなしだ。掲げられた六つの対策の中から、以下伺う。

①「本町ならではの教育」  
特色ある英語教育とは。

A 町長 外部人材の活用が特色の一つだ。三名のALTを配置しコミュニケーション能力の素地を養い技能の定着を目指している。海外交流・体験事業、イングリッシュデイキャンプ事業は他自治体にはない取り組みだ。

Q 日本の英語力が弱い原因の一つにALTの活用ができていないことが挙げられている。何処へ行っても通用する標準的英語を学ばせるべきだ。我が町はALTを上手に活用できているのか。ALTの能力も問われる。採用基準は。

A 教育課長 異文化社会を理解しグローバル世界にたくましく生きていく力を持った子供たちを育てることが教育目標であり、それに沿った採用基準で採用している。ご指摘の部分は今後考えながら対応したい。

## 高原通貨支給と現金支給

Q 「持続可能な農林業」

①トマト研修生の募集再開は。  
②子育て支援策において町内商工業者支援策である地域通貨券発行をなぜ現金支給としたのか。

③灯油購入支援のため地域通貨券を発行し・とあるが対象は灯油のみなのか。枠を広げるべきでは。

A 町長 ①まる豊トマト生産出荷組合や県、福山市農協と協議し再開に向け取り組む。

②対象者からも商工業者からも現金化を望む声が多く寄せられ決定した。

③皆様に良く行き渡るようにまた物価の高騰から対象は灯油のみとした。

Q トマトの水耕栽培は出来なのか。

A 産業課長 まる豊トマトは水耕栽培をしていない。必要ならば県の指導の下に検討してまいりたい。

Q 高原通貨を発行するという事は、町内でしか買物ができるという事である。規制緩和の中で同じ土俵で相撲を取れば田舎の零細商店は大規模店舗に勝てない。買い物難民の発生するゆえんだ。公の支援が必要だ。これは単なる経済対策だけでなく本町の子育て支援対策の特色にも繋がる。

A 町長 経済支援はその目的によって決定している。今回はその考えの下での対策です。

## 井関第2定住団地の将来像

Q 「医療福祉子育てしやすさの充実」

井関地区第2定住団地の将来像は。

A 町長 本町で暮らす子育て世代、子育てを本町でしたいIターン家族を対象とした3LDK程度の戸建て「賃借住宅」、本町の若い世代や町外からのUIターン希望の「単身住宅」を整備する計画だ。本年度造成設計を行い、複数年に分け段階的に整備したい。詳細な建築仕様等は今後決める。



R6.3.25 どんぐり幼稚園 卒園式